

シナリオ1 吸血のかわりに吸精さやき手コキ

――

主人公がハストラの屋敷を訪れる。

扉を開くと、ハストラが中から出てきた。

ハストラ

誰だ、こんな夜中に……。

ん？ き、キミは……！

だめじゃないか。

前にも言っただろう？

今日のような満月の夜に、ここを訪れてはいけない、と。

ふむ……。

いや会いに来てくれたのは、うれしいが、しかしだな……。

……。

来てしまったものは仕方がない……。

とりあえず、中へ入ってくれ

すまないね。

来ると思ってなかったから片してなくて。

適当にそのあたりにでも腰掛けてくれ。

それでだな、うーん……。

これは恥ずかしくて言いたくなかったのだが、

今日のような満月の夜は、私は……ひどくお腹が空いてしまうのだよ。

前にも教えたとおり、私は人間の血を吸う吸血鬼。

だから、この空腹を満たすには、誰かの血を吸い取るしか方法がない。

普段は我慢できるのだが、満月の夜にはどうしても本能が疼いてね……。

だから、誰にも会わないようにしていたんだ。

特に、よく遊びに来てくれる君にはね……。

んっ、だめだ、また……っ！

はあ、はあ……。

君をみていると、吸血したいという衝動で、頭がいっぱいになって……っ！

ああ、大丈夫だ、心配しなくてもいい……。

だが、今すぐ帰ってくれないか……っ。

これ以上はもう、我慢できそうに、ないんだ……っ！

っ！？ だ、大丈夫だ……！

君より遥かに年上なのだぞ、私は！

看病なんていらぬ。

だから私のことなんか放って、帰ってくれ……っ！

ふあ、へ……。

そ、そ、そうか……。

そんなに君は、私のことが……。

……。

そ、そこまで言うなら、君にお願いしようかな……。

あ、あのだな……。

実は、血を吸わなくても空腹を満たす方法が1つだけあるんだ……。

それを君に頼みたいんだ。できるかな？

ふふっ、そうか。

ならば……君の精液を、私にほしいんだ。

精液をもらえれば……血液ほどはなくても、この空腹を満たすことができるからな……。

どうだ？ 私のために、精液を出してはくれないか……？

大丈夫だ、ほら……。

私が優しく、精液をぴゅっぴゅっするお手伝い、してあげるから……な♥

ん……？

君、精液って何か分からないのか……？

ふふ、そうだったのか……。

毎日私の屋敷に本を読みにくる癖に、

そんなことも分からないのか……、くすくすっ。

ああ、わかった。それなら私が、精液について教えてあげよう。

その代わり……出てきた精液は、私に飲ませてくれるかな？

いいか？ 精液って言うのは、ここ……。

キミのおちんちんから出てくるものなんだ。

いいや、おしっことは 違う。

精液はこの、かわいらしいたまに溜まっているんだ。

だからこうして、おちんちんやたまたまを、

ゆっくりなでなでしてあげていると……ほら ♡

わかるか？ おちんちんがムズムズして、

むくむくって、大きくなってくるんだ ♡

これが続いていると、どんどん気持ちよくなってきて、

最後には、びゅ……って、おちんちんから精液が出てくるんだ。

大丈夫、何も怖がることはないんだよ？

私のなすがままに、君は気持ちよくなるだけでいいんだ…… ♡

ふふふ……。ほら、服を脱がしてあげよう。

おちんちんは直接触った方が、もっと気持ちよくなれるから、な……？

ふふっ、かわいらしいおちんちんが出てきてしまったな。

ぴんと上を向いて、薄い皮の向こうに若くて、おいしそうな血が滾って……んっ ♡

ああ、ダメだ……。

あんまり直視すると、吸血本能が抑えられなくなってしまう……！
血じゃなくて、ちゃんと精液を絞らないとな……。

こほん。じゃあ……おちんちん、直接触るからな。

こうして、優しく握って……。

上下に動かすと……ほら♥

おちんちんがすぐにジンジンしてくるだろう……？
くすぐったくて、変な感じかもしれないが……。

大丈夫だぞ。何もおかしくはない。

それが、おちんちんが気持ちいいってことだ。

むずむずがどんどん大きくなっていくと、

も……っと気持ちよくなって、

はあはあって呼吸が乱れるのも我慢できなくなって、
最後にはおちんちんの中を、びゆるびゆる……って泥みたいな精液が遡ってきて、
とっても気持ちよくなっちゃうんだ。

精液をびゅっびゅしてる時は、頭真っ白になって、

おちんちんが気持ちいいってこと以外、何も考えられなくなっちゃう。

なりたくないなあ？　そういう風に……♥

ふふ、ふふふ……っ♥

おちんちんを感じているキミは、とってもかわいいぞ……♥

おめめ、ぎゅってつぶって、身体はブルブル震わせて……。

もうそんなに、おちんちん気持ちよくなってるんだなあ。

まあ、そうだろうな……。こんな風に触られるの、はじめてなのだろう？

ふふ、ふふふ……っ。

はあ、はあ……ん、くう……っ。ああ……っ ♡

そんな、かわいいキミの姿、見ていたら……っ。

キミが、どンドン、おいしそうに見えてきて……っ。

はあ、はあ ♡

ああ、かわいい…… ♡

おいしそうな、首筋……。食べてしまいたい……っ ♡

あ、んう……。

れる、ん、ちゅっ、ちゅ…… ♡

ああ……っ ♡

すまない……っ、血を吸うのはなんとか、我慢するから……っ ♡

キミのこの、ドクドクと新鮮な血が流れる、首筋……っ ♡

ここだけは、舐めさせて、くれ……っ。ん……っ ♡

ちゅっ、ちゅぷっ、ちゅ、れる……ちゅ ♡

んちゅっ、れる……ちゅっ、ちゅる、ちゅっ ♡

はあ……っ、あたたかくて、若くて透き通るような肌…… ♡

そのすぐ下に、生命力あふれる血液が、どくんどくんって…… ♡

んちゅっ ♡ はぷっ、ちゅ、ちゅぷっ ♡

れるっ、ちゅ、ちゅっちゅ、ちゅっ、ちゅっ…… ♡

ああ……っ ♡ 早く、早く……っ ♡

君の初物ザーメン、早く飲みたい……っ ♡

んちゅっ、ちゅ ♡

そうでないと、私、おかしくなってしまう…… ♡

はあ、はあ、んちゅ、ちゅむっ ♡

んう、ああ、だめ、だめだ……っ。

我慢、するんだ……っ♡

キミの、精液……っ♡

おちんちんからびゅくびゅく、びゅるるっって出てくる、

新鮮な精液飲むまで、我慢……っ♡

れるぢゅっ、ちゅ、ちゅむ、ちゅっちゅ♡

はあ、はあ……っ♡

んっ、くすっ……君の足、がくがくって震えてる……♡

膝が笑っちゃうくらい、

おちんちんのぞくぞくが大きくなってきたんだな。

ほら、私の身体、掏んでいてもいいんだぞ。ぎゅって……。

そう。ふふふ……♡

立てなくなるくらい、私の手が気持ちいいんだよな♡

そろそろぎゅっって、おちんちんの奥に、何か出そうな感じが来たんじゃないか？

ふふふ。そう、それだ……っ♡

それが、射精する前の感覚だ……っ♡

もう少しで、おちんちんからびゅっびゅっって、

精液、出てくるんだぞ……っ♡

せましく絞まった尿道を押し拡げて、

あつくてドロドロのザーメンが、

どくんどくんってマグマみたいに昇ってくるんだ。

ああ、よかった……♡

もう少しで、君の首筋に噛みついてしまうところだった……♡

ふふっ、冗談だから、そんな目で見るな……♡

ほら、しこしこを強くしてあげよう。

出そうになったら、そのまま出してしまってもいいからな。

私の手の中で、たくさん出してくれ……♡

んちゅっ、じゅるるっ、じゅるるっ……♡

ほら、おちんちんから、びゅっって……っ。

真っ白いザーメン……っ。

どぴゅどぴゅ、びゅくびゅくって、**出せ……っ**♡

おちんちん、イッちゃえ……っ♡

ん、知らないか？

おちんちんから精液が出ることを、イクっていうんだ。

ほら、口に出してみる。

イク、イクって。

おちんちんイク、おちんちんイクって。

くすっ♡

ああ、ああ。イこうな。

おちんちんイッてしまおう。

しろく精液、たっぷり出してしまえ。

ほら、ほら。いいぞ、いいぞ……っ。

おちんちん、びゅっびゅっびゅっびゅっ……っ♡

(射精シーン 10:25)

……。

ああ……っ♡

出てる、出てるな……っ。

初物のザーメン、どぴゅどぴゅって、いっぱい……っ。

ぴゅっ……ぴゅっ……っ。

びゅっくん、びゅっくん……っ。

びゅるびゅる、びゅびゅびゅっ、っ。

ふふふふ……っ♡

ああ、
いつはい出たな……
💜

つまぬらんごじろじろど、

新鮮な濃おい精液が、ほら、こんなに……♡

まだおちんちんの奥、ちよつと残っているだろう？

全部、出し切ってしまえ……。

ゆっくり、搾り取るようにしごいたら……♡

ほら、じわーって先っぽから残り汁出てくるだろう？

ふふふっ
……
💜

見ろ、私の手……♡

キミの精液まみれになってしまったぞ。

こんなご馳走、もう食べるのが我慢できないなあ？

くすくす
んあ、んっ
💜
……

んぶ、ちゅぶ、れる、じゅるるっ💜

んちゅっ、じゅぶ、ちゅっ……♡

ん、あ……っ。精液、美味しい……。っ。

キミの、若いザーメンが……んちゅっ、じゅる……♡

舌の上で踊るようにはじけて、とつても……っ。

れるっ、ちゅぶ、ちゅっ、ちゅっ……♡

ん、
ふはあ……っ
♡

ああ……もうなくなっちゃった……。

こんな美味しい精液……。つ。初めて飲んだぞ……。つ。

君は餌としての素質があるな……なんて。くすくすっ💜

まだおちんちんにも、少しだけ残っているな。

こんな精液まみれのおちんちん、

味わなくては勿体なからう……♡

ケーキの包装を舐めるみたいで、少しはしたくないが……。

あゝ……むっ♡

くぷっ、ちゅ、んゝ……ちゅっ、ちゅっ、ちゅ、ちゅっ♡

んぷ、ちゅっ、れる、ちゅ、ちゅ、ん……じゅぷ、ちゅっ♡

ぷはあ……っ、ほんと、美味し……っ。

おちんちんの中に、残っているのも……っ。

れるっ、ちゅ、ちゅ……っ♡

きちんと、吸ってあげるからな……っ。

んちゅっ、れるっ、ちゅ、ちゅ、ちゅゝゝ……っ♡

ん、はあ……っ。

はあ、はあ……っ。ふふ……♡

精液、ごちそうさまでしたあ……。くすくすっ……。

でも、キミのおちんちんは……まだ大きいままみたいだなあ♡

あんなにハードな射精をさせて、しっかり搾り取ったのに……♡

ああ……若いってのは素晴らしいなあ……♡

くすくすっ……♡

だが、それなら……。

ごめんな？ ん……っ。

ふふ……っ。すまないな、痛くなかったか？

だが、私はもう……自分が抑えられなくなってしまったみたいだ……っ♡

君のとびきり美味しい精液、

今度は女の子の大事な部分でも、食べてみたくなってしまった……♡

今からもっと、もあっと……。

気持ちいいこと、してあげるからな……っ。

いっしょに、目一杯……楽しもうな……？

ふふ、ふふふふふ……♡

シナリオ2 発情生おまんこで絞精えっち

前トラックの続き。

主人公はハストラに押し倒された！

ハストラ

はあ、はあ……っ♡

ああ……♡

もう、我慢できない……っ♡

本当にすまない♡

今は、キミのこと、考えてやれる余裕がなくて……っ♡

んっ、ほら、わかるか？

今、キミのおちんちに、私のおまんこが当たっているぞ……っ♡

温かくて、柔らかくて、中がヌルヌルしていて……。

擦られたら、手なんかよりずっと気持ちよくなって、すぐにイってしまう♡

そんなおまんこの中に、

今から君のおちんちんを入れるからな……っ♡

ん？ ふふっ、大丈夫だ。

吸血鬼と人間の間では、子供はできないんだ。

安心して、中でびゅーって、気持ちよくなってくれたらいいからな……っ♡

ほら、おちんちんが、おまんこに少しずつ、飲まれて……っ、くっ、は、あっ♡

んうっ、おおあ……っ。

うっ、くう、ああっ、ああああ……っ♡

ちよ、っと、はあ、はあ……。

ふふっ、おちんちんが、待ち遠しすぎて、

入れただけで、私が軽くイッてしまったあ……っ。 はあ、はあ……っ。

どうだ……？ 君も、私のおまんこで、気持ちよくなれているか……っ？

君も、初めては、同じ年頃の女の子としたかっただろうけど、
私のような、わるゝい吸血鬼に、童貞奪われて……。

すまないな、許してくれ。

でも、後悔はしてないぞ♡

だって君のおちんちんは……。

おっ、あっ、おっ、おあっ、んあっ、おあっ、んああっ、おあおあ……っ♡

きもち、よすぎっ、はっ、あっ、おあっ、う、うう……んあ、おあ……っ♡

おちんちん、見た時から……っ。

んっ、くううっ、どうしてもっ、欲しく、なっちゃってえ……っ♡

あっ、あっ、ううっ、あああ……っ。ふっ、はあっ、はあっ、はああっ♡

あっ、あっ、おちんちんっ、キミの、若くてっ、硬いっ、おちんちん……っ♡

おまんこで、ぱんぱんっ、したくてっ、あっ、あっ、あっ、ああっ♡

おまんこで、おちんちん、どちゅ、どちゅって♡

童貞ちんちん、ぱこぱこ、ハメハメえ♡ ドスケベピストンで、ザーメン搾りい♡

うっ、ぐうっ、あっ、ああっ、おっ、おっ、おあっ、おあおあ……っ。

ずっと、ずっと、我慢していたからあ……っ♡

頭では、わかっているのにっ。身体が、おまんこが……っ♡

おちんちん、求めてっ、腰振り、止まらない……っ♡

エロエロピストンっ、尻肉叩きつけながらのっ、騎乗位逆しゅっ♡

止められないんだあ♡ すまない……っ♡

あうっ、ううあっ、んぐっ、んああ……っ♡

おっ、おあっ、あっ、んああ……っ♡

んうおっ、おあおっ、おっ、おっ、おっ、おあお……っ♡

うっ、くうう……っ♡

だめだ、おまんこ、うずうずする……っ♡

精液っ、キミのっ、新鮮ザーメンっ、中に、注いで欲しくてえ……っ。

早く、早くっ、また、射精してくれえ……っ♡

おまんこの中につ、精液、中出し、してほしいんだあ……っ。

わかるか？ 中出し。おまんこの中に、おちんちん、中出しだ……っ。

おちんちんぴゅっぴゅするときに、一番気持ちいいのが中出しなんだ……っ。

おまんこに、とろっとろのおまんこに、おちんちん包まれながら、

ぴゅっするるのが、一番なんだぞ……っ。

さっきのぴゅっぴゅの、何倍も気持ちいいんだ……っ。

私のぬりゅぬりゅあったかドスケベおまんこに、

おちんちんにゅっぷり包まれながらどっぴゅんするの、すっごく気持ちいいんだ……っ。

頭おかしくなっちゃうくらい気持ちいいぞ……っ♡

おまんこ中出しにドハマリしちゃって、

それ以外でお射精ぴゅっぴゅできなくなっちゃうかもしれないけど……っ♡

でも、いいよな？ だって、中出し気持ちいいもん？ な？

ほら、だから、早く出してくれ……っ♡

おまんこの中に、ザーメン出してくれえ……っ♡

おちんちん、おまんこの奥の奥まで入るように、ぎゅうっしててやるからな……っ。

ほら、ここだぞ。子宮、一番奥……っ♡

女の子の1番だいたいここに、精液ぴゅっだぞ……っ♡

さっきみたいに、濃厚おちんちん汁、ぴゅっくんするんだぞ……っ♡

ほらイケっ。イケっ。おちんちんイケっ。精液出せ出せ……っ♡

気持ちいい中出し、しろっ。脳みそとろけちゃうほど気持ちいい、中出し射精っ♡

おまんこの中に、ぴゅっぴゅってえ……♡ どびゅどびゅってえ……♡

ほら、イケ、イケ、イケ、イケえ……っ♡♡

(射精シーン 〇8:〇2)

ううっ、くううっ ♡

はああ、はあああ……っ ♡

あああ……っ、出てる、出てるぞあ……っ ♡

おまんこの奥に、ザーメン、どぴゅどぴゅう……てえ ♡

おっ、おっ、おおお……沁みるう…… ♡

ああ、いいぞ……っ ♡

おちんちん奥に、ぐいって押し付けながらっ、

まだまだ、たくさんぴゅっぴゅ、するんだぞ……っ。

はあ、はあ……っ。ふう、ふう……っ。

ああ…… ♡

お腹の中、キミの精液で、いっぱいだぞあ…… ♡

ドロドロに濃くて、熱くて、量も多くて、子宮の中が幸せだあ…… ♡。

ああ……でも……っ ♡

んっ、おっ、おおっ、おおっ、あっ、ううっ、おおっ、おおお……っ ♡

ピストン、止められないい……っ ♡

精子おいしくって、気持ちよくってえ ♡

おまんこまだまだ、満足、できないい……っ ♡

んっ、はっ、はあっ、はあっ、ううっ、うううっ ♡

おっ、おおっ、おおっ、んおおお……っ ♡

ごめんな、ごめんなあ……っ ♡

イッたばかりのおちんちん、おまんこでこすられて、辛いよなあ……っ。

でも、おまんこ、まだまだし足りない……っ ♡

キミのおちんちん、にゅぶにゅぶするの、やめられないんだあ……っ。

あっ、ぐうっ、あっ、ああ……っ。んっ、くうっ、はあっ、はああ……っ。

ふう、ふう……っ♡

あああ……っ♡

おまんこ気持ちいい、しびれるう……っ♡

おちんちん出入りする度に、ゾクゾク止まんないのあ……♡

おまんこパコハメえ……っ♡

掻き回されると、中からどんどん溢れてきちゃうのあ、たまんないい……っ。

ああああ……っ♡

しゅきい、しゅきい……っ♡

君との吸精えっちしゅきい……っ♡

おちんちんらしいしゅきい……っ♡

ずっとおちんちんしてたいのあ♡

おまんこの中、ずっと君のせーし感じてたいのあ……♡

ああああ……っ♡

らしいしゅきいっ。らしいしゅきらあ……っ♡

キミのことがあ、らしいしゅきなんらあ……っ。

ずっとえっちしたいなあって、思ってたのあ……♡

満月がちがついたら、いっつも君のこと見て、ムラムラっしてえ♡

キミとハメハメ、イチャラブパコハメ、したかったんだああ……っ。

キミのおちんちん、おまんこでゅっぶん、にゅっぶんって♡

愛してあげたくってえ……っ♡

ずっと、ずっとあっ、狙ってたんだあ……っ。

だから、だからあ……っ♡

今、とっても気持ちいいい……っ♡

キミとの生エッチい、おまんこハメハメえ……っ。

気持ちよくて、のーみそとろけちゃいそうなのあ……っ♡

はあ……っああ、うう、あ、ああああっ、おまんこ、イクっ、おまんこイクっ……っ♡
キミのおちんちんでえっ、またあっ、おまんこイっちゃうよあ……っ♡
キミも、また、出ちやいそうなんだあ？

ああ、いいぞ、いいぞあ……っ♡ 出してくれえ……っ♡
私のおまんこ、お腹いっぱいにしてくれえ……♡

なあ？ ギゅゝって♡

おまんこも、身体も、ギゅゝってしてあげるからあ……っ。
いっしょに、さいっこうに、気持ちよくなろうなあ……っ♡
あっ、あっ、あっ、あああっ♡

ううっ、おおおっ、イ、くっ、いい、お、おおお……っ♡
イクっ、イクっ、これ、イクう……っ♡
はっ、く、あ、あああっ♡

ううう、~~~~~っっっ♡♡♡

(射精シーン 13:42)

おっ、おっ、おおおっ、おおおおお……っ♡
……あっ、は、あああああ……っ♡
ザーメン、来たああああ……っ♡
おまんこの奥、奥にい、どびゅゝっ……どぶ、どぶってえ、
二度目の中出し、来てるううう……っ。

うううっ、おおお……っ♡
ああああ……っ、絶頂腹ぺこおまんこに、
精液びちゃびちゃってえ……っ♡
気持ち、よすぎるうう……っ♡
はひっ、ううっ、ううう……っ。おおおおお……っ♡

ふうっ、ふう、ふううう……っ♡

あああ……っ、これ、好きっ、だあい好きいい……っ♡

今までえ、食べてなかった分っ、

もっと、もっとって、おまんこが欲しがっちゃう……っ♡

なあ、もっと、もっとしようなあ……っ♡

もっと私の中に、キミのザーメン、たっぷり注いでくれえ……っ♡

夜明けまで、まだ……ざっつと五時間はあるからな……っ♡

日が昇るまで、ずっつと、ずうっつと、おまんこはこぼれ出してようなあ……っ♡

んふ、んふふ……っ。んふふふふ……っ。

シナリオ3 素面に戻ったハストラとはずかしうづうづえっち

――

一晚中エッチをした後、眠ってしまった二人。
目覚めると、ハストラは正気に戻っていた。

ハストラ

んっ、ふわぁ……。

むっ、少し寝坊したか……？

しかし、なぜ私はソファァなんかで寝て……。

ん？ あっ、き、キミは……。

……そうか！ 私は昨日……っ！

う、うう、思い出した……。

私は、キミを、襲ってしまって、それから一晚中……。

くくくくっ！

満月の夜とはいえ、私はなんてことを……。

本当にすまない！

ああ、少しそこで待っていてくれないか。

何かお詫びさせてほしいんだ。

何がいいかな。

アレキサンドライト、いや、ラピスラズリ……。

……。

そうだよな……。

宝石なんかが、

君の貞操に変えられるわけないよな。

本当にすまないことをした……。

私は、いったいどうすれば……。

ん？ な、なんだ？ どうした？

え、キス……？

だ、ダメだっ。私とのキスがお詫びになるわけないだろう！

それに、そういうのは、本当に好きな女の子とするものだ……っ。

あ、うう……。

そんなこと言うなあ……っ。

それにその、懇願するような目！

ずるいから、その目でこっちを見るな……っ。

まったく、もう。

……本当にキスでいいのか？

わ、わかった。一度だけだぞ？

ほら、ん、う……。

ん、ちゅっ……♡

これで満足か？

あ……っ♡

んゝ……ちゅっ、ん、ちゅ、ん、んっ……れるっ、ちゅっ♡

んちゅっ、ちゅむ、ちゅ、ちゅぢゅっ、ん、ちゅ、ちゅ……♡

んっ、ぶはあ……っ。はあ、はあ……っ。あ、んう……っ♡

んあ……っ。くう、うう……。

まったく、君は……。

私のことが怖くないのか？

あんなこと、されたのに……。

……え？ ばっかっ！

た、確かに、私も気持ちよかったが……って！

何を言うんだ、君は……っ。

し、しかしだな、あれは一時の過ちというか、

ああいうことは、本来、その……将来を誓い合ったもの同士ですること……。

もし、キミが私と、そういう関係になりたいと思っているとしても、

根本的に、キミと私では生きる世界が違うんだ。

だからいつか、悲しい別れをすることになるだけなんだ……。

それでも、いい……のか？

そうか。君はそこまで、私のことを……。

ふう……、わかった。

なら……寝室へ行こう。

こんなソファの上ではなくて、きちんとした所で君としたいからな。

こっちだ。着いてきてくれ。

ここのなら、落ち着いてできるな。

しかし、なんだか少し恥ずかしいな……。

昨日は満月の夜のせいで、自分が自分でなくなっていたから、

いざ素の状態ですとなると、な……。

くすっ……。さあ、こっちへ来て。私を、抱いてくれ……。

正真正銘、自分の意志で、君と……セックス、するからな……。

ん……っ。

ふふっ。

キミの身体は、こんなにも温かったのだな……。あ、ん……。

ちゅっ、ちゅむっ、ちゅっ、れる、ちゅぢゅっ

んちゅっ、ぢゅぶ、ちゅ、んちゅ、ちゅ、れる……じゅっ、ちゅ、ちゅっ

んっ！

ぷはっ、まったく……こんな可憐な女の子を強引に押し倒すなんて。

君も男の子なんだな。ふふふ……

君のこころも……♡

大きくなっているな。待ちきれないのか？

くすぐすつ、いいぞ♡

私のも、もう濡れているからな。

君に抱きしめられたら、

昨日の思い出出して、すぐに溢れてきてしまったんだ……♡

すぐにでも入れられるぞ♡

ん……っ。ああ、そうだ。そこ……っ。

くすつ、君に私の秘部の場所がバしているのは、

少し恥ずかしいな……っ、ああっ、一気に、入、って……っ！♡

んっ、はあ……っ。はあ、はあ……っ♡

してしまったな、セックス……。

あ、き、昨日のはノーカウントだからな。

……それより、どうだ？

気持ちいいか？ 私の中は。

あ、んう……。

好きに動かしていいからな。

私のをを使って、好きなだけ気持ちよくなってくれ。

んっ、あっ、あっ、んっ、あっ、あっ、んあっ、んあ……っ。

うっ、ううっ、年の割に、あっ、あ……っ。

ずいぶんと、腰を振るの、うまいじゃない、か……っ。

あっ、んっ、あっ、ああ……っ。

私の、気持ちいいところ……っ。ちゃんと、こすって……っ。

あっ、ああっ、んっ、ああ……っ。

い、いや……。そうだ、昨日……私が、仕込んだんだったな……。
無理矢理、腰を振らせて……。

すまない……。っ。キミにこんなこと、覚えさせてしまった……。っ。
私は、本当に悪いことを……。

んっ、あっ、あっ、んっ、あっ、あぁっ、はぁっ♡

……。えっ。き、気持ちいいぞ……。っ。し、しかし……。

そうか。君は、優しいのだな……。ありがとう……。

ふふっ、ならば、君の期待に応えると、しようか……。♡

ほら、おいで……。♡

ん、ちゅっ、んちゅっ、ぢゅぶ、れる、んぢゅ、んっ……。♡

んちゅっ、ん、ぶっ、れる、はぁ、む……。ちゅっ、ちゅぶっ、ちゅ♡

れるぢゅ、ん……。ちゅっ、んちゅっ、ぢゅる、ぢゅぶっ、ちゅ、ちゅっ♡

はっ……。ちゅっ、ん、ちゅっ、れるっ、んぢゅ、

ちゅ、ちゅぢゅっ、ん、ちゅっ、ちゅぶっ……。♡

んんっ……。んぁ、あん、んっ、ぁ、ぁぁ♡

お、おま……。繋がって、いるところが、どんどん熱を帯びてきて……。っ♡

はぁ、ん、んっ……。♡

ん？

……。い、言えるか！ お、お、おまんこなんて……。っ！

ぁ、ぁれはだ……。っ、発情して、おかしくなったからであって……。ううっ、うん♡

ぁん、ぁんっ、ぁ、ぁっ、うん、んっ、んっく、んっふ……。♡

い、いつもの私はぁんなに淫らじゃないんだぞ……。っ！

んっ、あっ、ぁ……。♡

で、でも……。♡

君が好きなら、ちよっと、そういう感じに、なろうかな……。なんて。

んっ♡

お、おまんこ、が……。

君のおちんちんで、気持ちよくなってるぞ……っ♡

んひっ、あ、だめだっ♡

急に激しくなるなあ……！♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……。

はあ、はあ……、気持ちいいぞ……っ♡

キミとの、エッチっ、

ただ気持ちいいだけじゃなくて、すごく、幸せな気分だよ……っ。

胸が満たされて、温かくなって……っ。ああ……っ。

んあっ、あん、んくっ、んうっ……♡

はあ、はあ……っ。

これが、好きって、ことなんだろうな……っ♡

私は、キミのことが♡

どうやら好き、みたいだ……っ。

ずっと、ずっと側に、いてほしいって、思ってる……♡

君は、どうなんだろうか……っ。

私は君より、ずっとずっと年上だし、

君とは生きる世界も違うし、それに……。

んっ！♡

ぞ、そんな強く抱きしめるなあ……！

吸血鬼でも、痛いのは痛いんだぞ……っ♡

ふふっ、でも、聞くまでもなかったな……っ♡

君の好意には気づいていたが、

私の意気地がなかったただけなんだ……。

でもこれからは、いっぱい、愛し合おう……っ♡

こんな風に……っん、やつ、あっ♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……。

はっ、はっ、はっ、はああ……っ。んっ、くう……っ。

ん……？ もう、出そうなのか？

ふふ、ああ、いいぞ。我慢なんてなくていい。

出したくなったらすぐ、射精していいからな。

私の、お、おまんこに、たっぷりと射精してくれ。

君の温かい精液、射精なんか抜きにして、たくさん中に欲しいんだ……っ♡

ああっ、好き♡

大好きだ、愛してる……っ♡

んあっ、来るっ、大好きな、君のが、たくさん、ドクドクって、あ、あっ、あっ……♡

ん、んっ、くっくっ……っ♡

(射精シーン 15:37)

あっ、ああ、んっ、ふう、ふう……。はあ……。

ああ……♡

たくさん、出てるのを感じてるよ……♡

おちんちん……から、びゅく、びゅくって……♡

中がほんのり暖かくて、心地いいぞ……♡

ほら、こっちおいで。

最後まで気持ちよく、びゅーっとするんだぞ……♡

ちゅっ、れる、ちゅっ、ん……ちゅっ♡

は、む……ちゅ、んちゅっ、ちゅ、ちゅむっ、ちゅう……♡

んっ、は、ちゅ、ちゅっ、れる……ちゅっ、ちゅっ♡

んちゅっ、ちゅ、ちゅう……ちゅっちゅ♡

んゝ……、まだ出るなあ……♡

ぴゅっぴゅ、とろとろゝって……♡

ん、う……。ふふ、ふふふ……。

あ、ん……。っ。もう出ないのに、まだおちんちん、ぐりぐり、へこへこってしてえ……。

まったく、いやしんぼだな、キミは……。ふふふ。

ん……。ありがとう、またいっぱい、私の中に注いでくれて。

はあ……。ああ、やっぱり……。キミの精液の味は格別だ……。

こんな精液なら、いくらでも受け止められる……。

……。なあ、もっとしたいか？

今日ってことじゃなくて、これから……。

ふふ、そう言うと思ったよ。なら、いいぞ。

これからは好きなときに私のところに来て、おまんこ、使ってくれて構わないぞ。

私も、キミの精液をもらえるのなら、それ以上嬉しいことはないからな。

ふふふ……。これからもよろしくな。

私の大事な……。小さな恋人くん。

シナリオ4 本当に1つになった日

愛を確かめあってから1か月後。

主人公はあれから屋敷を訪れられていなかった。

満月の夜、主人公は家から抜け出し、久しぶりに館を訪れた。

ハストラ

どちら様ですか……あ！

……なんだ。久しぶりじゃないか。

ふう、いろいろ言いたいこともあるが……。

どうやら何かあったのかな？

とにかく中に入りたまえ。

最後に会ってから、もう一ヶ月近く経つな。

今までずっと何をしてたんだ？

こ、恋人の私を差し置いて……だな。

寂しかったんだぞ……。

まあ大方、あの日無断外泊してしまったせいで、

親に外に出るのを止められていたりしたんだろう？

凶星か？ くすっ……。

それでまた抜け出してきて、私の所に来たというわけか。

君も私のせいで、ずいぶん悪い子になってしまったようだな……。くすくすっ。

だが本当に安心したよ。

長く生きていると、悲しい別れも数多く経験しているからな。

君の身に何かあったんじゃないかとも思っ……。

再びこうして会えて、こんなに嬉しいことはないよ。

……しかし。

久しぶりの再会が、また満月の日とはな。

狙って訪れたのか？

ははっ、本当に悪い子だ……。今日は、容赦できないぞ？

ふん、望むところという顔だな。生意気な奴め。

ふう……。

私も……ちよっとそろそろ我慢が効かないかな。

本当は扉を開けて君を見た瞬間……んっ♡

その場で、襲ってしまいそうだったんだ……♡

はあ、はあ……♡

ダメだ。ベッドに行く間も惜しい……っ♡

服脱ごうな。ほら……。

すう……はあ♡

おちんちんの匂い……っ♡

あっ、んう……♡

これ、これだよ。ずっと、これが欲しかったんだ……っ♡

こんな濃い臭いさせてえ……♡

薄皮1枚の向こうに、ザーメンがぐっぐっ煮えたぎってるのが分かるよ♡

ふふ、ふふふ、ああ、待ちきれない……っ♡

涎が滴り落ちてしまいそうだ♡

もう、我慢できない……っ♡

おちんちん、もう入れちゃうからなっ♡

ハメてしまうからな……っ♡

あっ、くう、は、入るぞ……っ♡

おちんちん、私のおまんこ、にい……っ。

あっ、んああっ♡

ううっ、うううっ、ああああ……っ♡

おちんちん、奥までずるって、入ってきたあ……♡

久しぶりの、おちんちんっ♡

あっ、あああっ、これ、これえっ、たまんない……っ♡

あっ、おっ、おあっ、ああっ、んあっ♡

おあっ、おっ、おああ……っ♡

すごいっ、すごいっ、一月ぶりのセックス……っ♡

おまんこ我慢すぎて、敏感でえ……っ♡

入ったり、出たりするだけでえ、

こんな気持ちいいなんてえ、お、おあ……っ♡

おっ、あっ、おあっ、おあおっ、んあっ、おあおっ、

おっ、おっ、おっ、おあおあ……っ♡

んっ、んあっ、おまんこすごいっ、きもちいい……っ♡

ずっと、オナニーすら、してなかったんだぞあ♡

おまんこっ、キミとエッチする時専用だって、決めてたからあ……っ♡

君のおちんちんを、ザーメンの味を知ったらあ、

自分でなんて、満足できないからなあ……♡

だからあっ、あっ、ああっ、一ヶ月ぶりに、中っ、んああっ、

おまんこっ、おちんちんで掻き混ぜられえ……っ♡

ひいっ、はああっ、あっ、あああっ、感じ、ちやううう……っ♡

んあっ、んうあっ、おっ、あっ、ああっ、あああ……っ♡

おうっ、んああっ、おあっ、おっ、おあっ、んあおあ……っ♡

あああ……っ。おちんちん、おちんちん……っ♡

やっぱり、私い……っ、もう、これがないと、生きていけないのあ……っ♡

キミといっしょじゃないと、ダメだあ♡

キミとずうっといっしょじゃないと……っ ♡

イヤだ、イヤなんだあ……っ。

あっ、ああああっ、ううんっ、んんんうう……っ、

んんっ、んうっ、はあっ、はあっ、はあっ、んあああ……っ。

君も、そうだろう……？

君もこの一ヶ月、寂しかったんだろう……？

私と会えなくて、……ドスケベエッチ、できなくてえっ ♡

はあっ、はあっ、はあっ、はああ……っ ♡

そうだ……っ ♡

それなら、私に、いい考えがある……っ。

なあ、キミも……っ、私と、同じにならないか……？

ああ、そうだ。同じだ。私と同じ、吸血鬼に……っ。

そうすればもう、キミと私が離れ離れになることはない……っ ♡

永遠に同じ時を過ごそうじゃないか ♡

永遠に、こうして……っ ♡

ドスケベおまんこにハメて、中出しっ ♡

朝も夜も関係なく、無限の体力ですっつとハメ続けられるぞあ……っ ♡

なあ、いいだろう……？

君を狭い部屋に押し込める親なんか、捨ててっ、私と、いっしょになろう、なっ！？ ♡

な、お願いだ……っ ♡

ほら、ちよっとチクツとするだけで、

君と私はずっと一緒になれるんだぞ……っ ♡

そうしたら、私のこといくらでも好きにしていから……っ ♡

吸血鬼同士だと、妊娠も出来るんだぞ……っ ♡

君のかっこいい精子、おまんこの中にたくさん注いで、

ここに、子どもが欲しいんだ……っ ♡

なっ、ダメか……っ

やぁん、中でびくんって跳ねたぞぁ？

欲しいよな、私との子ども……っ ♡

いいぞぁ、吸血鬼になって、

私のこと孕ませようなぁ…… ♡

ほら、もっと気持ちよくなろうじゃないかぁ ♡

んふっ、あっ、は、あぁ…… ♡

んっ、好き、すきい…… ♡

君ももっと好きって言ってくれえ ♡

お互いの好きの感情を高めながら、

おまんこどちゅどちゅするの、すごい気持ちいいぞぁ ♡

ほら、言って、言ってくれえ ♡

あはっ、あっ、あ、あぁ、ひゃ、あぁぁ…… ♡

すごいぞぁ……言われる度に、

私のおまんこが、ジンジンしてえ…… ♡

もっと、もっとぁ ♡

君のことがほしくなってくる ♡

私のものにしたくなる……っ ♡

ほら、もっと濃い精子を、たくさん作ってくれえ ♡

あはっ、すき、すきい…… ♡

はぁ……もうおちんちんパンパンだなぁ…… ♡

もう中でびゅーってしちゃいそうだろぁ？

分かるぞぁ、何回もエッチしたから、

君のおちんちんのは、ぜーんぶ…… ♡

射精するのと同時に、君の血を吸ってやるからなあ♡

そうしたら、全身の細胞が、

気持ちよく灼かれて、溶けるような快感に包まれて、

君は頭の中真っ白になりながら、

私のおまんこの中に、溜まってるのをせーくんが出してしまうんだ。

新しく生まれ変わる為に、

何十秒も、何分もどくんどくんって、

ザーメンぶびゅぶびゅ、垂れ流してしまうんだ♡

今までの射精の中で、1番気持ちいいからなあ……♡

ふふっ、ほくら♡

いいぞっ、出せ、出してしまえ……っ。

最高に気持ちよくなって、君は、私といっしょになるんだ……っ♡

永遠の時を、共に過ごそう……っ♡

永久に、愛し合い続けよう……っ♡

あっ、くううっ、んああっ、ああああ……っ♡

ううあっ、うああっ、あっ、イけ、イっちゃえ……♡

はあむ、む、ん……っ♡

~~~~~♡♡

(射精シーン 11:50)

はあ……んっ、ん、んう、ん、ん……。

あ……♡

おちんちんからも、首からも、

びゅーびゅーって、どぶどぶって……♡

たくさん出て気持ちいいだろあ……♡

ちゅ、ぢゅ……んぐ、んっ、ん……。

私も、ああ、こんなおいしいご飯、初めてだ……っ  
んぐっ、待ち望んだ君の血液を、

精子と一緒に頂けるなんて、こんなご馳走……っ

私も、んっ、おかしくなってしまうぞうだ……っ

ああ、まだ出るなあ……っ

もっと出せえ……っ

おちんちんから限界を超えて精子が出て、

血液と一緒にどんどん私の物になっていく……っ

意識もどんどんしろくなくなって……っ。

眠かったら、眠ってもいいからなあ……っ

射精と吸血の快感に包まれながら、

ゆっくり眠るんだ……。

起きたら、またたくさんエッチしようなあ……。

ふふっ、ごちそうさま。

これからもずっと、私だけの君でいてくれよ。

シナリオ⑤ 初めての満月の夜、二人で発情うづうづえっち

-----

吸血鬼になってから一ヵ月後。

ハストラと外から帰ってきた二人は、

早速玄関で発情するがまさに盛りだす。

◎正面・近距離 キスの時だけの距離で

んちゅっ、んっ、ちゅっ、ちゅぶ、ちゅ、ぢゅる……っ♡

はむっ、ちゅ、んちゅ、ちゅ、ちゅぶ、ちゅ、ちゅう……♡

んっ、ぶはぁ……っ。

はっ、はぁ……っ♡

ま、待て……っ。あ、んん……っ。

んぢゅ、ぢゅぶっ、ちゅ、ちゅっ♡

れるぢゅっ、ぢゅっ、ちゅぶっ、ちゅ、ぢゅぶ、ちゅ、ぢゅゝゝ……っ♡

お、落ち着け。

まだ帰ってきたばかりだぞ、こんな所で、ダメだ……っ♡

ん……っ♡

ふう、ふう……。

ちよっとは落ち着いたか？

ふう……。いや、私は大丈夫だ。

まあ、今日は君が吸血鬼になってから、初めての満月だからな。

多少理性が乱れるのは仕方あるまい。

それに……、私も少し期待していたからな。

ほら見る。

私のおまんこも、こゝんなに濡れてしまっている……♡

君のおちんぼが、欲しくてな♡



んっ……♡

んぢゅ、ちゅ、ちゅぷっ、ぢゅっ♡

んゝ……ぢゅう、ちゅうゝ……ちゅく、ちゅっ、ちゅ♡

ちゅゝっ、んぢゅっ、ちゅ、じゅる、じゅるゝっ♡

んは……っ♡

こんな、ねっとりといやらしいキス、いっぱいされたら……♡

もっと興奮して、びちよびちよになってしまっ……っ♡

んちゅっ、じゅっ、ちゅっ、ちゅう……ちゅっ♡

ん……ちゅっ、ちゅゝ……♡

れるっ、はあ、はあ……んちゅっ、ちゅ、ちゅっちゅっ♡

ぢゅるっ、ちゅ、ちゅぷっ、ちゅ、ちゅゝゝっ……ちゅっ♡

んっ、はあ、はあ、はあ……っ♡

んん……っ♡

だ、だめだ……っ♡

わ、私も、もう……っ、ちよっと、我慢できないなあ……♡

さあ……。

二人だけの夜を始めようじゃないか……っ♡

ほら、脱がすぞ……♡

ふふ……♡

舐つてもないのに、イってるみたいにびくんびくんしているぞ。

そんなに待ちきれないのか？

ふうー……♡

あはっ♡

息を吹きかけただけで、びくっとしたな？

そんなに敏感になってるんだなあ？

ふうー……、ふうー……♡

ふふふ、かわいいなあ……♡

ん？ 触って欲しいのか？

そうだな、我慢できないもんなあ♡

ああ、いいぞ。ほうら……♡

どうだ？ これでいいか？

ん？ なんだあ？

おちんちん、ゆ～っくり、なでなでってされるの、いやなのか。

激しく？ だめだ、だめだ。

くすっ♡

夜は長いんだ。もっと楽しもうじゃないか。

ほら、おちんちん、な～で、な～で♡

ゆっくり、ゆ～っくり、す～り、す～り……♡

くすくすっ、ほ～ら♡

激しくなんかしなくても、我慢汁が先っぽから、

じわ～ってにじみ出てきているではないか♡

先っぽも突っ張って、もう射精しちやいそうだなあ♡

まだまだ、ゆっくり。

す～り、す～り……な～で、な～で……♡

ふふっ、おっと。

あんまりいじめて、出してしまったら勿体ないな♡

なあ？

この敏感おちんちん、どこで射精したい？

このまま、シコシコって、私のやわらかい手で、手コキ射精してほしいか？

それとも、じゅるじゅるじゅぼじゅぼ、ぬるぬるの口で出させてやろうか？ ん～？

そうだよなあ♡

おまんこ、だよなあ♡

私の発情トロホはおまんこに、イキかけ敏感ちんぽ突っ込んで、

思うがままにどちゅどちゅピストンして、そのまま中に、精液びゅゅってしたいよなあ♡

ふふっ、ほら、おいで♡

私の発情おまんこ、た〜くさん使っていていぞ…♡

ほら…♡

お尻突き上げて、おちんぽおねだりポーズしてるぞ…♡

早くっ…私のお尻、鷲掴みにして…思いっきりパコハメ、楽しんでくれ…っ。

ん…っ、後ろから、おちんちん、思い切り…っ♡

んんっ、はああああ…っ♡

おちんちん、来たあ♡

くすっ、あ〜あ…♡

おちんちん、中でビクンビクンさせちゃってえ♡

もう出そうなんだろあ？

中に、出すんだ、ほら、ほら、ほらっ♡

く〜っ♡

っは、中、出てるなあ…♡

発情したおもた〜い精液が、どびゅ、どびゅって、お腹の中に流し込まれてるう…♡

ああ……孕んじゃう…♡

私の卵子が君のつよ〜い精子に負けて受精しちゃおう…♡

うっ、まだ、出てる…っ♡

まったく…。かわいい顔して、ケダモノみたいな射精をするんだから…♡

よしよし、全部出し切ってしま、んんっ！？

んお、おあっ、おっ、お、おあ……っ ♡

はあ、はあ、まっ、待てっ、あっ、んうあっ ♡

そんなっ、射精したのにつ、おちんちん、どっぴゅんしたのにいっ、

抜かずのっ、ピストン……っ ♡

おっ、おあおっ、んあっ、おっ、んあっ、おあおっ、うあお……っ ♡

ダ、ダメっ、子宮、壊れる、ふぐっ、ん、んんっ、お、おあおっ、んあおあっ ♡

おっ、んあっ、あ、あ、あっ ♡

こんなっ、こんなあ……っ。きっ、キミっ、いつの間に、

こんなっ、セックス、覚え、て……っ ♡

んあおあっ、そこっ、おあっ、そこっ、そこだめっ ♡

敏感な、とこっ ♡ どちゅどちゅ突いたらっ、

おっ、おあっ、とぶ、とぶっ、おあ、あ、あっ ♡

んあおっ、きちゃう、きちゃうう ♡

イクっ、イクっ、おまんこイクっ、んっ、お、あ、あ、あっ…… ♡

くくっっっ ♡ くくくくくくくくっ ♡ ♡ ♡

んはっ、は、はあ、はあ、ま、はあ、までっ…… ♡

んああっ、あっ、んあっ、んあっ、おあおあお ♡

だめえ、だめっ、イッた、イッたからあ……っ ♡

イッたのにつ、全力でっ、おまんこっ、どちゅどちゅは、だめええっ ♡

おまんこ壊れるっ、おかしくなるっ ♡

キミにつ、キミのおちんちんにつ、おっ、おあ……っ ♡

負け、ちゃうっ、おまんこ、キミのものにされちゃう ♡

あああっ、んあっ、ひっ、あ、あっ、ああ、あああ…… ♡

うっ、んあおっ、おあっ、ほ、おあっ、んあっ ♡

ま、またっ、強制的に、イクっ♡ イカされるっ♡

発情ちんぽで、無理やり、いくっ、いくっ、おっ、おおお……っ♡

あっ、あっ、うううう……っ♡

ああああっ、イクく、イクく、イクイクイク……っ♡♡

っく、あ、くくくくくくっっ♡♡ あ、はっ、あ、ああああ……♡

うううっ、ううううっ、ちよ、ちよと待て……っ♡

ほんと、死んじゃう……、いき死ぬっ、はあ、はあ、はあ……♡

ば、化け物かキミは……っ♡

本当に、壊されるかと思ったぞ！

はあ、はあ……♡

君が、こんなにスケベな吸血鬼になってしまっとは……。

私も流石にそんなに若くないんだから、少し堪えるよ。

んっ、こ、コラッ！

中でおちんちんを、ビクビクさせるな……っ！

ひっ、いき過ぎて、敏感になってるから……っ♡

は、あ、うう……♡

しよ、しょうがないな……。

身体がもたないから、ちょっとはゆっくりしてくれよ。

んっ、あ、ああ……♡

んっ、はあ、はっ、ああっ、こ、これも、ダメ、だっ……！♡

んおっ、あっ、おお、おおお……♡

深い、ストロークで、子宮、どっちゅ、どっちゅて、されてっ、

ああああっ、んああああ……っ♡

んおおっ、おおおおおっ、あっ、んおおおっ、またあっ、またイクううう……っ。

深いキキちゃううう……っ♡ ああああっ、んお、おおあああ……っ♡

ふううう、ふううう……っ♡

くううっ、んぐううっ……っ、イ、イクっ、んうううっ……っ♡

んあ、はっ、ああああああ……っ♡

おおおっ、おおおおおおおお……っ♡

んおおおっ、ひおっ、おおおおおおああああ……っ♡

んい、はひっ、ひいー……ひいー……っ♡

はああ……あ、あっああああ……っ♡

すっごい……っ♡ こんな、深くいったこと、ない……っ♡

身体、壊れちゃうっ♡ 君の愛で、私、バラバラになっちゃう♡

はぐっ、うっ、ううう……っ♡

好きい……っ♡ 好きだあ……っ♡

私も、君のことが、大好き……っ♡

普段の君とのっ、優しいセックスもっ♡

今のキミのっ、獣みたいなバコハメ交尾もおお……っ♡

どっちもっ、大好きっ♡ 君とのエッチも、全部好きいい……っ♡

ああああああ……っ♡

好きいっ、好きいいい……っ♡

あああっ、好きっ、好きっ、好きっ、好きいいいいいい……っ♡

んっ、うううっ、ああ、あ、あああっ、んああああ……っ♡

あっ、う、うう……っ♡

おちんちん、中で、ぎゅーって、おっきくなったあ……♡

出そう、なんだなっ、ああっ、あ、はっ、あああ……♡

出して、くれえ……っ、キミの、ザーメン……っ♡

いっぱい、中に、中に、くれえ……っ♡

あっ、ぐううう……っ、君の精液、子宮で、浴びてえ、

私も、またっ、イくからああ……っ♡

んおおおっ、おおおっ、おお、おおおお……っ♡

いっしょにイこう、な……っ♡

いっしょに、いっしょにいい……っ♡

ああ、深いの、くるっ、くるっ♡

んあ、あつ、あああ……っ、んあああああ……っ♡

おおおおつ、んお、おおつ、おおおつ、おお、あつ、ああつ、ああああ……っ💜

イクうつ、イクうつ…っ♡

しゅぎいの、くるうう、うお、お、ほっ、お、お、おあ💜

イっく、イく、イ、ひ、はっ、あっ、あ……っ💜

つ、つ、つ……は、……つ、つ、つ、つ、つ……つ  
 つ、つ、つ……つ、つ、つ……つ

(射精シーン 19..13)

っは、は、あ、はあ、はあ、はあ……  
💜

イっ……うっ、くっ、イっ、ひ、は、はあ……あっ、あ、はあ、はあ……💜

つぐ、ほ、おま、んこつ、おぼ……れてっ……♡

キミの、っ、ザーメンで、はっ、はっ、うう……っっっっっ♡

イく、の、とまん、ない……っ♡  
うぐっ、うっ、ふ、ふう……ふ、つく……っ♡♡

はあ、はあ、はあ、はあ、はあ……。

んちゅっ、ちゅ、ちゅっ……♡

はあ、はあ……少し、落ち着いた、みたいだ……。

ふふ、ふつ、まったく、こんな、イカされ方したら……。

もう……っ♡

君はすばらしいな、本当に……。○

なあ……まだまだ、するんだろう……？

くすくすっ、だって、満月の夜は、まだ始まったばかり……。

朝まで、二人きりの夜を楽しもうな……。

ん、う……ちゅっ。

愛してるぞ、永遠にな。